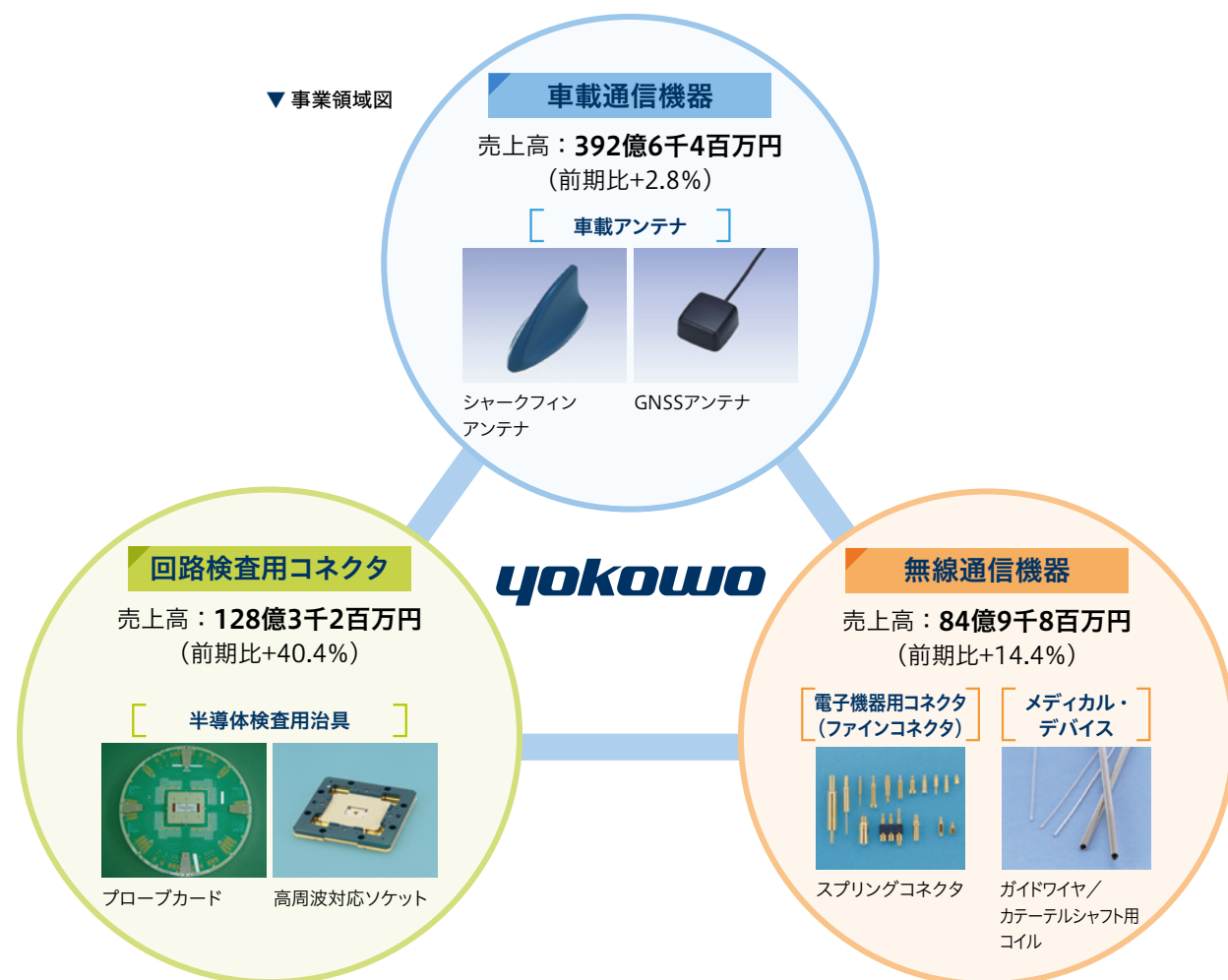


ヨコオの事業領域

当社グループは、微細精密加工技術を深化させながらアンテナ技術やマイクロウェーブ（高周波）技術などさまざまな技術を導入し磨き上げてきました。アンテナやコネクタ、先端デバイス製品と事業領域を拡大し、現在では、車載通信機器、回路検査用コネクタ、無線通信機器の3セグメントで事業を展開しています。



車載通信機器

主に自動車市場向けに、シャークフィンアンテナをはじめとする自動車用アンテナ（車載アンテナ）を製造しています。

車載アンテナの基本ニーズである小型化・複合化・低背化・スマート化に応えるため、次世代の車載通信を支えるアンテナシステムをお客さまに開発・提案し続けることにより、安全・快適なモビリティサービスの実現に貢献します。

回路検査用コネクタ

主に半導体・電子部品検査市場向けに、前工程検査用プローブカード・後工程検査用ソケットを製造しています。

半導体・電子部品などエレクトロニクス機器のデバイス検査において、微細化・高速対応ニーズに応えるべく、微細精密加工技術とマイクロウェーブ技術を駆使し、検査領域全工程におけるソリューションを提供しています。

無線通信機器

〈ファインコネクタ事業〉

主に携帯通信端末市場向けに、各種電子機器の小型化・省スペース化ニーズに応える微細な「スプリングコネクタ」をグローバルに開発・提供しています。

〈メディカル・デバイス事業〉

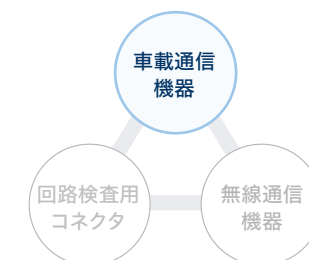
主に低侵襲医療機器市場向けに、OEMガイドワイヤ、カテーテルなどの微細精密部品およびアセンブリ品の設計から開発・製造まで一貫したサービスを提供しています。

車載通信機器セグメント

▼ 車載通信機器 連結売上高推移

(単位：百万円)

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
28,761	32,029	36,256	38,183	39,264



セグメント概要

当セグメントでは、シャークフィンアンテナやGPSアンテナをはじめとする低周波から高周波までの全ての領域に対応した車載アンテナを、主に中国・ベトナムで製造しており、海外生産比率は90%を超えています。販売については、主に日系自動車メーカー向けに、国内のみならず米国やASEAN市場など、グローバルに提供しており、海外販売比率は60%を超えています。

次世代の車載通信を支えるアンテナシステムのリーディングカンパニーとして、アンテナ技術をはじめとするコア技術の継続的な強化と、長期的に利益を生み続けるための収益構造の抜本的改革を推進します。

セグメント概況 (2019年度)

当セグメントの主要市場である自動車市場は、米中貿易摩擦の長期化による世界景気の減速などにより、米国や中国をはじめとした主要各国で需要が横ばいないしは減少傾向で推移しています。さらに、第4四半期においては新型コロナウイルス感染症の拡大により、完成車メーカーも工場の稼働停止を余儀なくされる事態となりました。

国内では、2019年10月の消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や新型コロナウイルス感染症の拡大などによる需要の落ち込みにより、登録車および軽自動車の新車販売台数は前期比で下回りました。

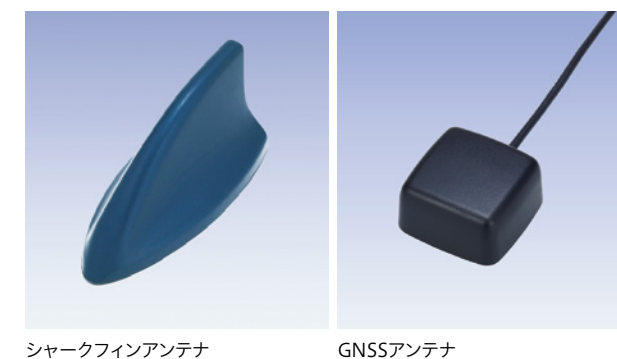
このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナやGPSアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、主要顧客への国内・海外向け販売が堅調に推移し、前期を上回りました。また、ETCアンテナなど国内向けを主とする製品については、一部の完成車メーカー

の販売台数が好調に推移したことなどにより、前期を上回りました。

セグメント方針

今後は、ADAS（先進運転支援システム）や自動運転、コネクティッドカーなどの新規分野において、より先進的かつ付加価値の高い戦略製品の開発に取り組みつつ、MaaSなどモビリティサービス分野でのプレゼンスを本格化し、さらなる事業拡大と重層化を引き続き推進します。

また、生産拠点における能力増強投資に加えて、2019年度に導入した自動組立ライン・自動検査システムの安定拡大に努めるとともに、中国工場からベトナム工場へのさらなる生産移管拡大、第3生産拠点の検討やアライアンスの積極活用により、収益構造再建を進めていきます。

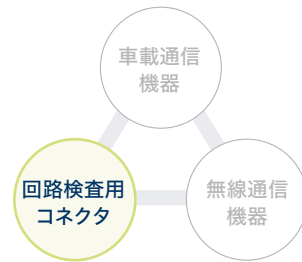


回路検査用コネクタセグメント

▼ 回路検査用コネクタ 連結売上高推移

(単位：百万円)

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
6,614	6,883	9,503	9,138	12,832



セグメント概要

当セグメントでは、微細精密加工技術を駆使したコンタクトプローブ、および当製品を用いた前工程検査用プローブカード・後工程検査用ソケットを製造しています。日本とマレーシアに生産拠点を有し、海外生産比率は70%以上です。製品は半導体メーカーやファウンドリーを中心にグローバルに提供しており、海外販売比率は80%を超えています。

近年では、マイクロウェーブ技術も併せて活用した5G（第5世代移動通信システム）デバイス検査用ソケットやMEMS技術を駆使した高周波電子部品検査用プローブカードなど最先端分野向けの製品ラインアップも拡充しています。

セグメント概況（2019年度）

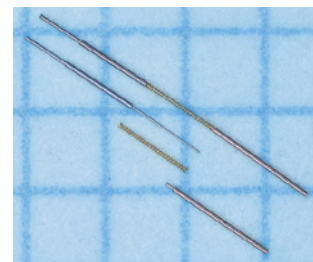
当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、米中貿易摩擦などを背景にスマートフォン向けの需要が減少し、IC製品では特にメモリ市場が低調に推移しているものの、5G、IoT、車載、AI、ビッグデータといった成長分野での需要増加により、中長期的には成長が継続する見通しです。

このような状況の中、当社グループの主力製品である半導体後工程検査用治具の販売は、メモリ分野を中心に需要が減速した前期とは対照的に、高周波対応製品の受注増などにより、前期を大幅に上回りました。また、半導体前工程検査用治具の販売も、周辺機器を含めてワンストップソリューションでサービスを提供するターンキー・ビジネスが順調に拡大したことなどにより、前期を上回りました。

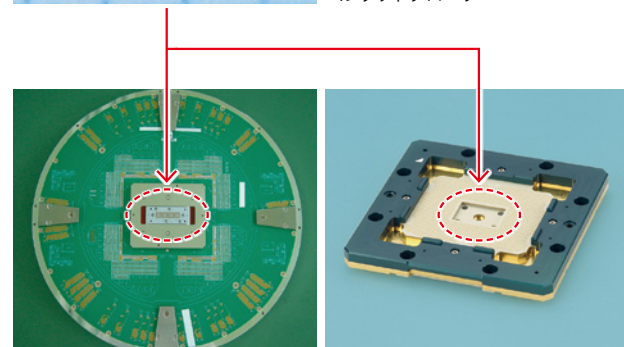
この結果、当セグメントの売上高は128億3千2百万円（前期比+40.4%）と、前期比で大幅な増収となりました。セグメント損益については、増収による増益、比較的利益率の高い製品の売上比率上昇および生産設備の稼働率上昇などにより、31億3千2百万円の利益（前期比+236.7%）となりました。

セグメント方針

今後は、5G、IoT、車載、AIといった分野での半導体検査需要増を確実に取り込んでいく方針です。そのために、戦略製品の開発・投入、国内およびマレーシア工場における能力増強投資、自動組立ライン構築・自動検査システム導入など効率化および合理化投資、半導体前工程検査領域でのターンキー・ビジネス拡大に向けた本格的体制強化を強力に推進し、さらに高収益な事業構造の構築と安定的な事業運営に努めていきます。



コンタクトプローブ



プローブカード

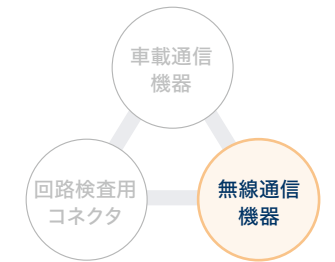
高周波対応ソケット

無線通信機器セグメント

▼ 無線通信機器 連結売上高推移

(単位：百万円)

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
4,622	5,164	6,158	7,429	8,498



セグメント概要

当セグメントは、ファインコネクタおよびメディカル・デバイスの2事業で構成されています。ファインコネクタ事業については、電子機器の着脱部分に対して簡易に接続可能なスプリングコネクタを日本、マレーシア、中国で製造しており、海外生産比率は80%以上です。製品は国内外の多種多様な電子機器メーカー向けに提供しており、海外販売比率は80%を超えています。メディカル・デバイス事業では、OEMガイドワイヤ、カテーテルなどの微細精密部品に加え、アッセンブリ品の設計から開発・製造までを日本の富岡工場で行っています。製品は国内の医療機器メーカーを中心に提供しており、海外販売比率は10%ほどです。

セグメント概況（2019年度）

当セグメントの主要市場である携帯通信端末市場は、スマートフォンの販売が減少傾向にある一方、ウェアラブル端末は多様化・高機能化により今後の成長が見込まれています。また、POS端末市場は、物流・製造をはじめとする幅広い業界において、情報管理による業務効率化実現の観点から着実な成長を続けている他、産業機器などの他市場も成長が期待されています。

微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業においては、ヘルスケア市場向け製品の販売が当下期より急速に減少したものの、POS端末・ウェアラブル端末向け販売が好調に推移したことなどにより、売上高は前期を上回りました。

メディカル・デバイス事業では、アッセンブリ品販売が国内・海外ともに堅調に推移したことに加え、部品販売が

増加したことにより、売上高は前期を大幅に上回りました。この結果、当セグメントの売上高は、84億9千8百万円（前期比+14.4%）と、前期比で増収となりました。セグメント損益については、ファインコネクタ事業において新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生産性が低下したものの、増収による増益、比較的利益率の高い製品の比率上昇、メディカル・デバイス事業における歩留まりの向上などにより、17億5千5百万円の利益（前期比+8.7%）となりました。

セグメント方針

ファインコネクタ事業では、市場の差別化製品ニーズに沿った高機能・高速大容量といったカスタムタイプのコネクタの投入や、標準品ラインアップの拡充による新たな需要の取り込みの加速により、事業の拡大と製品・市場・顧客の“重層化”に引き続き取り組んでいく計画です。メディカル・デバイス事業については、最先端の生産設備導入による微細精密部品の生産能力増強と、ガイドワイヤ／カテーテルアッセンブリ品の国内外への拡販推進によるさらなる事業成長を目指すとともに、米国をはじめ世界的に拡大する先端医療分野での事業拡大を見据えたサプライチェーンの“重層化”も推進していきます。



スプリングコネクタ



ガイドワイヤ用コイル